

令和3年度 さいたま市立城南中学校 学校運営協議会による評価書

さいたま市立城南中学校  
学校運営協議会  
会長氏名 増岡章

学校運営協議会による評価（協議会の委員の意見等）

- ・取組の柱①・②及び生徒指導の各項目について、記述内容は大変すばらしいものと考え  
る。ただ、学校を取組である項目のPDCAサイクルにおいて、学校運営協議会委員にど  
のような取組を行い、どのような成果があったなど、その実態と成果について報告して  
もらうことで、学校と運営協議会委員の連携・認識が深まり、次のCA（チェック・ア  
クション）に結び付くと考えるので、次年度は、深い連携の下でより良い学校運営に生  
かしていきたい。
- ・「授業が楽しい」というアンケート結果は、素晴らしいと思う。同じ問題を繰り返し取  
組、学習した内容を理解できているか確認する時間をとることは、生徒の自信に繋がっ  
ていくと考える。
- ・欠席連絡に「学校安心メール」を活用している事は、教職員や保護者にとって、負担少  
ない良い取組だと思う。
- ・生徒や保護者のアンケート結果からは、良い結果が出ている。先生方が努力された結果  
であると考え。
- ・いじめに関しては、城南中の生徒から深刻な事例は聞こえてきません。安定したご家庭  
が多いのだと思う。これからも、小さな事例を見逃さずに安心して生徒が通える信頼さ  
れる学校を目指してほしい。
- ・いじめ撲滅は、そう簡単にできるものではないが、繰り返し創意工夫を行いながら取り組  
むのがベストであると考え。県や市内、他市の取組を研究するものも一考である。
- ・いじめはいじめ側もいじめられる側もとても苦しい状況である。取り囲んでいる環境に  
よって変化してくると思うので、引き続き細やかな対応をお願いしたい。

学校運営協議会による評価を受けた学校の対応

- ・今年度もコロナ禍であっても、生徒の学びを止めない、豊かな学校生活の実践を心掛  
け、学校職員全体が一丸となって取り組んだことが、生徒・保護者から評価を得たもの  
と考える。
- ・いじめに関しては、アンテナを高くもち、生徒の些細な変化も見逃さず、早期のきめ細  
やかな対応を教職員の共通理解のもと、実践していく。
- ・今後も学校・保護者・地域が一体となり、健やかな生徒を育成していけるよう、尽力し  
ていく所存である。

校長氏名 金子宜史